

Title	第八十四卷第十二号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2012
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.85, No.1 (2012. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20120128-0182

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第八十四卷 第十二号 目次

齋藤和夫教授退職記念論文集

序	大石 裕	マンハイムにおける「革命的意識」について —『イデオロギーとユートピア』を中心に—	蔭山 宏
通信法制と放送法制の融合 —その限界と到達点—	青木 淳一	借地上建物への抵当権設定における担保価値維持義務 —最高裁第一小法廷平成二三年九月九日判決を契機として—	片山直也
債権者代位権擁護論 —債権法改正における立法論のあり方と「学説の作った虚像」—	池田 真朗	共有著作権の権利処理に関する一考察 —共同著作物と共有著作物の差異の明確化のために—	加藤 修
不動産投資法人(J-REIT)のガバナンスにまつわる実務上の諸問題に関する一考察	石橋 源也	契約における錯誤と情報提供義務 —錯誤規定をめぐる近時の潮流(P E C L、P I C C、D C F R)と日本法—	鹿野菜穂子
民事司法改革の実現を目指して —債務名義の執行力強化—	今井 和男	妨害排除請求権に基づく原状回復の範囲	河原 格
ニーチェの永遠回帰論とマラー —交響曲第三番の歌詞をめぐる—	岩下 真好	二重売買と危険負担 —危険負担制度と契約解除制度の競合—	北居 功
司法研修所の要件事実論に代わる「新しい要件事実論」の構築のために	加賀山 茂	平成二三年改正特許法における冒認出願・共同出願違反と真の権利者の救済	君嶋 祐子

イギリス倒産法における管財機関の生成と信託理論

工藤敏隆

判例研究の目的

六車明

フルペイアウト方式によるファイナンス・リース契約における倒産解除特約の効力

櫻井一成

政府系ファンドと行動規範をめぐる諸問題

渡井理佳子

―最高裁平成二〇年十二月一日第三小法廷判決(民集六二卷一〇号二五六一頁)について―

イギリスにおける金銭支払を命ずる判決の強制執行

島田真琴

国際貸付契約書に見る担保手法についての考察

山根真文

EU基本条約の自由移動規定と国際私法―EU法の視点からの一考察―

庄司克宏

―主として英米法の担保制度を通して―

ドイツ管理共同制における家財道具の物上代位規定

水津太郎

トーマス・マンの『非政治的人間の考察』について
―「正義と真理に反して」の章を中心に―

坂口尚史

―生成・展開の構造と基礎―

組合と権利能力なき社団における共有論の可能性

平野裕之

New Religions in Japan: A Case Study of Oyamanezumomikoto-Shinjikyokai
ASAI, Shizuo

―財産群法理と団体的拘束原理―

抵当権の追及効と対抗問題の射程

松尾弘

斎藤和夫教授略歴・主要業績

留置権の「対抗可能性」に関する一考察

武川幸嗣

連結点の基礎となる事実と弁論主義

山田恒久